

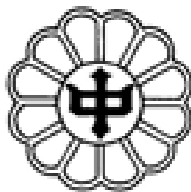


12月4日(月)

2023年(令和5年)

発行所:東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社



未来の仕事を考える

マイナビと毎日新聞社による「キャリア講座」が12月4日マイナビPLACE(東京都中央区銀座)で開かれました。AI(人工知能)が進歩していく世界で、将来どんな職業を選びますか。

講座に参加した千代田区立麹町中学校の生徒が未来の働き方や社会のあり方について考えました。

AI時代に必要な力

現在、AIに仕事を奪われるとされている職業は、約50%ほどと言われている。これだけ聞けば、不安や危機感を覚える人も少なくないだろう。しかし、この問題の本質は、少し違う話題に隠れている。

AIに奪われるとされている職業は、コンビニ店員や警備員などの作業が単純であるものが多い一方、医師や教員といった職業はAIによる代替が難しいとされている。

これはつまり、「人の感情」が関係するような職業は、AIにとって非常に難しいもので、同時に人間だからこそその職業もあることを意味している。

しかし、それらの職業には、「人とコミュニケーションを取り、感情の変化を読み取って臨機応変



な対応をする力」が重要であり、

現代日本人はその力が不足している。

私は、画面上での上っ面だけのやり取りでなく、相手の目を見て、直接話をするからこそ、AI時代を生きる上で重要だと思う。

【新妻能楽】

私たちができること

マイナビキャリア講座に参加し、栗井さんと竹村さんの講演を聞いた。その講演を聞き、私たちのさまざまな将来について考えさせられた。そして、将来の自分と世界についての思いがかなり動かされた。

まず、自分の将来という仕事についてのことだ。以前までは九割ほどの仕事は人間がやっており、一割が機械での自動作業だと思っていたが、講演を聞きかなりの仕事は機械の自動作業だと知った。そのため、将来私が働くことになるであろう十年後には、半分以上が機械になることが予測される。つまり、人間が働くことができる仕事が少なくなるため、将来のことを今まで以上に考える必要が出てきた。

二つ目の世界とは、今話されているSDGsなどの環境の話で

ある。私たち人間は数百年少しづつ地球を汚染してきている。その

ため、地球を元に戻すのにも数百年かかると思っている人も多いだろう。私も以前までそう思っていた。だが、講演を聞いていくと、その考えが甘いことに気付いた。

確かに、人間は数百年、少しづつ地球を汚していったが、実は昔はそこまで地球を汚してはいなかった。地球の汚染の速さが早くなっ

たのは実はここ30年である。つまり、逆を言えば数百年汚したものを同じ数百年で治せるのであれば、この30年も同じように30年で治せるんじゃないかと思った。

つまり、これからは私たち一人ひとりが気をつければ、将来地球に住めなくなるということも起きないと思う。

改めて、私は今回講演を聞き、これからの自分への見方と私たちへの見方を知ることができたと感じた。今、私は中学一年生というまだ小さい人間ではあるが、そのまだ知らないことが多い私でもこうして自分、そして世界についても考えられた。もし、この長い感想を読んでくれたのであれば、ぜひ私と無理に似せなくてもいいので、あなたの自分への見方、そし



て世界への見方を考えてみてください。

【宍倉叶夢】

よりよい社会に変える

私たち人間の本质は「未熟さ」「余白」「子ども性」と竹村真一さんが言っていました。つまり、

一生自分をリセットし続けられる能力があるということだと思えます。人間はスローに育ち、スローに老いる。このような社会を作ることで本質を活かし今ある地球温暖化などの世界的問題の解決の一步になると思えます。わずか30年で地球のOSを変えた人類は次の30年で地球を良くする力をもっているのです。

これからは、この力を色々な場所ですすめ、AIが求められるのだと思います。同じものを作り、同じことをするのはAIの方が向いていることであって、逆にゼロから自分の多様性を生かして作り出すことの方が人間には向いているのです。

私たちは次の世代へバトンを渡すためにもっとよりよい社会、もっと暮らしやすい生活に変えていくことが大切だと思います。

【西立野琉可】